

近畿ろうきんのあゆみ

20th Anniversary KINKI ROKIN 1998-2018

20周年記念誌

 **近畿ろうきん**  
はたらくあなたへ、笑顔、を届けに

近畿労働金庫  
〒550-8538 大阪市西区江戸堀 1-12-1  
<https://www.rokin.or.jp>



 **近畿ろうきん**  
はたらくあなたへ、笑顔、を届けに

はたらく仲間の生活を守り  
 地域・社会の幸せに貢献したい。  
 過去から受け継いできた理念のもと  
 未来に向けて挑戦し続けていきます。

理事長に聞く、

近畿ろうきんのこれまで、そしてこれから



近畿労働金庫  
 理事長

石村 龍治



はたらく仲間を支える金融機関として  
 役割を果たしてきた

近畿エリアの7つの労働金庫が統合し、「近畿ろうきん」が誕生してから20年、2007～2008年の世界金融危機など厳しい経済状況に直面しながらも、預金・融資残高とも着実に伸ばし、今日まで歩みを進めてきました。統合によって経営基盤を強化し、スケールメリットを活かすことで商品やサービスをいっそう充実させ、はたらく人々のお役に立てる金融機関として役割を発揮してきたと自負しています。会員、組合員の皆さまと当金庫が手を携え、努力を積み重ねてきた結果として今日を迎えられたものと心から感謝しています。

1950年の労働金庫の創立以来、一貫して非営利の福祉金融機関として「はたらく人々の生活を守り、地域・社会に貢献すること」を目的とした事業を展開してきました。社会が変わりゆくなかで、賃金の遅配・欠配への対策など労働組合に対する直接的な支援から、組合員の皆さまの生活を支援する仕組みへとその役割も変化してきました。今後もこの取り組みをさらに進め、より多様な勤労者の皆さまのお役に立てる金融機関をめざす所存です。

「社会のために」  
 共生をめざした取り組みを推進

「社会のために役立ちたい」という強い思いのもと、当金庫は全国の労働金庫に先駆けてNPO法人などとパートナーシップを結び、共生促進事業に取り組んできました。とくに忘れられないのは、2011年3月の東日本大震災です。阪神・淡路大震災で得た教訓・支援スキームやNPO法人などのパートナーシップを活かし、震災後、復興支援定期預金「サポートV」を発売しました。約161億円の預金を結集できたことにより、10年間で総額1億5,000万円以上をNPO法人などによる復興支援に寄付する取り組みを継続中です。(これまでの累計寄付額は1億3,270万円)

また、2006年の貸金業法改正(2010年に完全施行)にあたっては、労働者福祉中央協議会による「政府への請願書提出」に呼応して会員推進機構にも抜本改正への取り組みに参画していただいたことで、より大きな運動になりました。その結果、出資法上限金利の引下げや総量規制の導入が実現したことは、記憶に新しいところです。

こうした取り組みの背景には、全国の労働金庫が創立当初から「質屋・高利貸し」や、社会問題となっていたいわゆる「クレ・サラ問題」に警鐘を鳴らし続け、会員推進機構とともに組合員への啓発活動や借換え活動を展開してきた歴史があります。現在も会員推進機構と力を合わせ、「ローン借換えによる生活改善の取り組み」を推進するなど、その営みは続いています。

未来への挑戦  
 ～近畿ろうきんのこれから～

「マイナス金利政策の長期化」「少子高齢化の進展」「労働人口の減少」など、金融機関を取り巻く経営環境が厳しさを増しているなか、「FinTech(フィンテック)」と呼ばれるIT技術を活用した金融サービスの強化や、AI(人工知能)を活用した金融業務の効率化などにより、競争力を高めていかなければなりません。

当金庫では、2018年から3年間の計画で新たに第7次中期経営計画をスタートさせました。将来にわたって安定的に事業を継続していくため、経営基盤をより強固なものにしていく計画です。

これからも、はたらく仲間や地域・社会の幸せのために尽くすという姿勢を変えず、時代の変化に合わせて果敢に挑戦していきます。

Message

役職員一同、もっと多くの皆さまに「近畿ろうきん」を知ってもらい利用していただくことができるよう、「はたらくあなたへ笑顔を届けに」を実践してまいります。

今後とも皆さまからのご支援とご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



特集

20th Anniversary

# はたらく仲間の暮らしのために

1950(昭和25)年に誕生した〈ろうきん〉は、戦後復興の最中、金融機関からの借入れが難しかった労働者層へ積極的に融資し、はたらく人々の生活を守るうえで大きな役割を果たしました。以来70年近く、「はたらく仲間のための金融機関」として、夢と共感を創造し続けてきました。



## Story 1 戦後復興の途上、自ら資金を出し合い「はたらく仲間のための金融機関」をつくった

敗戦から数年後、日本はいまだ混乱から脱しておらず、人々は先の見えない不安定な暮らしを送っていました。経済復興が急がれるなか、金融機関の資金は国や企業に回され、労働者への貸付は一向に行われません。その日の糧にも事欠く人々は、足りない生活費を工面するために質屋や高利貸しを頼るしかありませんでした。利息の支払いや取立てに追われ、生活は苦しくなるばかり。そうした状況を打開し、経済的に自立するために、「はたらく仲間の生活を救おう」と立ち上がったのは、他でもない労働者自身でした。

「自分たちのお金を自分たちのために使う。そんな自分たちのための銀行をつくらう。」そうした声のもと、1950(昭和25)年、労働組合や生活協同組合が中心となって資金を集め、営利を目的としない日本で初めての福祉金融機関「労働金庫

〈ろうきん〉が誕生しました。企業や国のためではなく、はたらく仲間のための金融機関=〈ろうきん〉の歴史の幕開けでした。岡山県・兵庫県を皮切りに、その後、全国各地に〈ろうきん〉が誕生していきました。大阪府では1952(昭和27)年、京都府・和歌山県では1953(昭和28)年、奈良県・滋賀県では1955(昭和30)年と、近畿の各府県でも次々と〈ろうきん〉が産声をあげました。



開業当時の兵庫ろうきんの店舗



労働金庫法成立を知らせる新聞記事 (出典:全国労働金庫協会五十年史)

## Story 2 人生を豊かに過ごすために「貯蓄」を後押しする仕組みをつくる

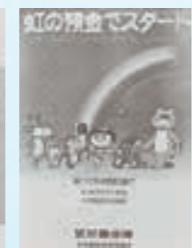
時代は高度経済成長期、企業に勤める人が急増した1960年代から、経済成長と足並みを揃えるように少しずつ賃金も増えていきましたが、まだまだ貯蓄する余裕のある人は多くありませんでした。

そのなかで〈ろうきん〉は、はたらく人々の財産づくりを後押しするため、勤労者財産形成促進法(財形法)の制定に尽力し、「財形貯蓄(一般財形貯蓄)」が誕生しました。財形貯蓄とは、事業主が給料から天引きしたお金を積み立てる仕組み。1972(昭和47)年、全国の〈ろうきん〉で財形貯蓄「虹の預金」の取扱いがスタートしました。

最初は「一般財形」のみでしたが、その後、定年退職後の生活を支えるための「財形年金」、マイホームの資金づくりに活かせる「財形住宅」も加わって、3種類になりました。



財形貯蓄「虹の預金」ポスター (出典:全国労働金庫協会三十年史)



労働組合とともに、看板を設置して募集を呼びかける

## Story 3 マイホーム、マイカー、子どもの教育はたらく仲間とその家族の夢を応援する

〈ろうきん〉は、いつの時代も時流を捉え、はたらく仲間とその家族の豊かな暮らしを一番に考え、応援してきました。マイホームの夢を実現してきた住宅ローンはもちろんのこと、進学率の高まりに応じて、1978(昭和53)年には教育ローンの取扱いを開始。さらにマイカー時代の到来に呼応し、1986(昭和61)年には低金利の自動車ローンを発売しました。

その頃、社会はカードの時代へと突入。いつでも、どこでも、自由に借りられるカードローンが急増しました。しかし借りやすさの一方で、利息制限法と出資法の金利制限の間のグレーゾーンを利用した高金利に苦しむ人が増えていきました。それに歯止めをかけるべく、〈ろうきん〉は1986(昭和61)年、より手軽で低金利、かつ安全な新カードローン「マイプラン」を発売しました。



展開された「教育ローン」や「マイプラン」のキャンペーン(出典:全国労働金庫協会五十年史)



ライフプラン相談会の開催

## Story 4 苦しむ多重債務者を救いたい〈ろうきん〉の役割が認知される

1980年代前半、「サラ金」と呼ばれる消費者金融による高金利の融資や厳しい取立てが増えていました。こうしたサラ金被害を食い止めるべく、1983(昭和58)年、全国の〈ろうきん〉で「サラ金対策キャンペーン」を展開しました。この取組みが世論を喚起し、サラ金が社会問題化。新たな被害を防ぐとともに、サラ金被害者の救済活動が大きく前進しました。この動きにより、営利を目的としない福祉金融機関としての〈ろうきん〉の役割と存在理由が、社会にあらためて認知されることになりました。



サラ金対策キャンペーンの新聞記事 (朝日新聞、1983年2月19日付)



サラ金対策キャンペーンの新聞広告 (朝日新聞、1983年8月29日付)



特集

20th Anniversary

# 未来へ向けて、社会のために、地域とともに

少子高齢化、グローバル化が進展し、経済状況や労働環境も様変わりするなかで、〈ろうきん〉に求められる役割も変化してきました。1998(平成10)年、近畿エリアの7金庫が統合して誕生した「近畿労働金庫(近畿ろうきん)」は、はたらく人だけではなく、地域とのつながりを大切に、社会の共感を育む金融機関として事業を広げています。



## Story 5

### 社会の「笑顔」のために 預金を通じて「共助と共感の輪」を広げる

「はたらく人のお金は、より良い社会づくりのために循環させる」という考えのもと、近畿ろうきんは、はたらく人々が暮らす地域社会と手を携えながら、共生社会の実現に向けて取り組んできました。

その一つが社会貢献預金“すまいる”です。預金を通じて、子ども支援や被災地支援・防災、国際協力、障がい者生活支援、女性・マイノリティ支援、環境保全に取り組んでいる近畿2府4県のNPO団体を応援してきました。

2018(平成30)年4月からは、“すまいる”を引き継いだ新たな社会貢献預金“笑顔プラス”を通じ、共助と共感の輪をさらに大きく広げています。



社会貢献預金“すまいる”チラシ



《国際協力》インドの村に井戸を寄贈  
(出典・公益社団法人アジア協会アジア友の会)



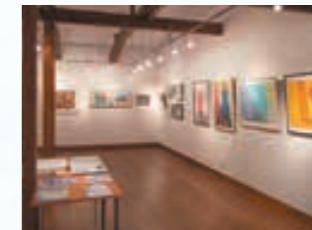
《環境保全》奈良・野迫川村の道普請  
(古道の修繕・維持)

## Story 7

### 障がいのある人と共に生きる 新しいコミュニティを創造する

〈ろうきん〉の理念にも記されている「人々が喜びをもって共生できる社会」。近畿ろうきんは、障がいのある方もない方も、誰もが喜びをもって共に暮らせる社会の実現をめざしています。その一環として、2000(平成12)年から地域のNPOと共催で、知的・身体的に障がいのある方が“芸術”を通して社会と交流する「エイブル・アート近畿〜ひと・アート・まち」を開催しています。現在では、障がいのある方だけでなく、アーティストや地域住民、NPOなど多くの人が参加する一大ムーブメントになっています。

今後も、障がいのある方がよりいっそう活躍できる環境づくりに貢献していきます。



「エイブル・アート近畿〜ひと・アート・まち」の活動が評価され、企業などの優れた芸術文化支援(メセナ)活動を顕彰する「メセナアワード2006」で、文化庁長官賞を受賞した。

## Story 6

### NPOと協力し 社会課題の解決に挑み続ける

近畿ろうきんは、はたらく人の味方であると同時に、地域・社会に貢献することも使命と任じてきました。その実現に向けて、ともに取り組むパートナーとしてNPOなどと連携し、はたらく人々を取り巻く社会課題の解決にも挑んでいます。

NPOとの協働事業「心のそしな」では、本店営業部を中心に、預金をいただいたお客さまにお渡しする粗品分のお金をフィリピンの子どもたちの給食支援に寄付しています。2011(平成23)年には、NPOと企業の優れた協働事業を表彰する「第8回パートナーシップ大賞」(主催:NPO法人パートナーシップ・サポートセンター)のグランプリを受賞。社会的に高い評価を受けました。

また、近畿ろうきんは、金融界の先駆者として、2000(平成

12)年に「NPO事業サポートローン」を創設。融資を通じてNPO法人や社会福祉法人などの活動を支援しています。



心のそしなパンフレット



第8回パートナーシップ大賞  
グランプリ受賞



NPO事業サポートローン チラシ

## Story 8

### 災害から生活者を守り 立ち上がる力になる

1995(平成7)年1月、近畿地方に甚大な被害をもたらした阪神・淡路大震災。被害を受けた兵庫ろうきんなどが先頭に立ち、被災した方々の支援に奔走しました。近畿ろうきんでは、その経験を活かし、災害支援や防災・減災への取組みに力を注いでいます。

2011(平成23)年3月、東日本大震災が発生した時も、近畿ろうきんは、いち早く復興支援定期預金「サポートV」を発売しました。10年間という長期にわたって、被災地に寄付金を贈呈し続けています。「サポートV」による寄付金は、被災地の震災遺児を支援している「あしなが育英会」、被災障がい者を支援している「ゆめ風基金」に贈られています。



サポートV チラシ



寄付金で再建した東北の障がい者作業所



NPOと協力し、東日本大震災や  
熊本地震の被災地支援活動を実施

# 1950-

第二次世界大戦後の厳しい経済状況のなか、はたらく人々の生活を守るべく、労働金庫(ろうきん)が誕生しました。それから50年～高度経済成長・バブル景気・平成不況～、激動のなか、常に、はたらく人々に寄り添ってきました。

## 1950 兵庫ろうきん誕生



1951 山陽電鉄労組に「スト解決のための」賃金肩代わり融資

1961 近畿の各ろうきん、第2室戸台風被災者に非常貸出実施

1966 沖繩ろうきんの誕生により、全国にろうきんの設立が完了

1967 ろうきんの基本理念決定

1972 財形貯蓄「虹の預金(一般財形)」の取扱い開始

1978 教育ローン(ろうきん統一制度)の発売

兵庫ろうきん、兵庫県との提携による「離職者生活安定資金融資制度」発足

1986 カードローン「マイプラン」(ろうきん統一商品)の発売

※近畿の各ろうきんは1987年取扱い開始

近畿の各ろうきん全体で3年後には

残高**800**億円突破  
(1990年3月末)

上で、出し入れ。



下で、借入れ。

1990 ろうきん統一の新オンラインシステム(ユニティ)への移行

全国キャッシュサービス(MICS)とのCD提携開始

1993 定期性預金金利の完全自由化

1995 阪神・淡路大震災にともなう特別融資を実施(地震発生の翌日(1月18日)より相談・受付の開始)



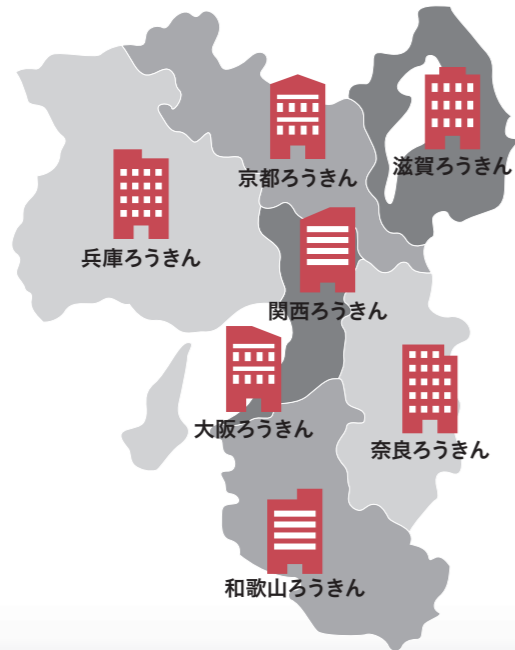
総件数 **12,187**件  
総額 **500億3,000**万円の発行  
(~1996年12月末)

●震災遺児支援定期「エール30」(ろうきん統一商品)の発売

1952 大阪ろうきん、関西ろうきん誕生

1953 京都ろうきん、和歌山ろうきん誕生

1955 奈良ろうきん、滋賀ろうきん誕生



1980 日本労働者信用基金協会(日本労信協)設立

1982 「財形年金」の取扱い開始

1983 ろうきん統一「サラ金対策キャンペーン」の実施

1985 近畿の各ろうきん、ろうきん統一のオンラインシステム稼働

1986 ろうきん新シンボルマーク(現行マーク)を制定



ろうきんシンボルマーク

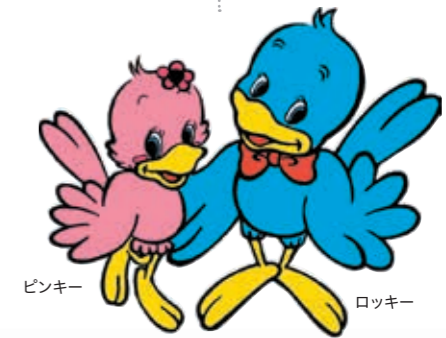
1988 「財形住宅」の取扱い開始

1994 ろうきんの財形貯蓄契約件数が金融業界でトップに



1996 全国のろうきんの総預金量10兆円突破

1997 新マスコットキャラクター「ロッキー」デビュー  
●新「ろうきんの理念」制定



ピンキー ロッキー ©ROKIN

1946 ●メーデー11年ぶりに復活

1947 ●労働基準法公布

1956 ●経済白書「もはや戦後ではない」

1958 ●一万円札発行

1964 ●オリンピック景気(谷1962.10~山1964.10)

1967 ●国内人口1億人超える

1970 ●いざなぎ景気(谷1965.10~山1970.7)

1971 ●ニクソンショック

1973 ●第1次オイルショック

1979 ●第2次オイルショック

1980 ●公定歩合引上げ(7.25→9.0%)、戦後最高値

1985 ●プラザ合意

1987 ●国鉄分割民営化、JR各社発足

●ニューヨーク市場株価大暴落(ブラックマンデー)

1988 ●瀬戸大橋開通

1991 ●バブル景気(谷1986.11~山1991.2)

1989 ●消費税導入(税率3%)

●日経平均3万8,915円の市場最高値を記録

1995 ●阪神・淡路大震災

●平成不況始まる

1994 ●関西国際空港開港

1996 ●日本版金融ビッグバンスタート

1997 ●消費税率を5%に引上げ

●アジア通貨危機

近畿の7つの(ろうきん)が統合し、「近畿ろうきん」が誕生。  
 “失われた20年”といわれる経済低迷の間も  
 近畿の社会・経済を担う人々を力強く支えるべく、  
 商品・サービスを充実させてきました。

## 1998 (10月1日) 近畿エリア7つのろうきんが統合 近畿ろうきん誕生



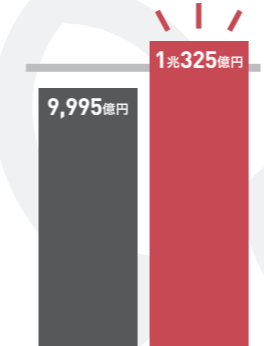
- 2000**
- 「他行・郵便局ATM・CD機利用手数料の全額還元」の実施(条件付)
  - デビットカードサービスの取扱い開始
  - 兵庫ろうきん誕生から50周年を記念し、積立定期預金「ゆうゆう年金50」の発売
  - 「エイブル・アート近畿～ひと・アート・まち」初回開催
  - 第1回ろうきん杯学童軟式野球近畿選手権大会の開催



## 2001 インターネット・ モバイルバンキングの 取扱い開始



## 2003 1 融資残高 兆円突破



- 2004**
- 財形・エース電話振替サービス「ZATTS(ザッツ)」の取扱い開始
  - アイワイバンク銀行(現セブン銀行)とのATM利用提携
  - 団体用インターネットバンキング(団体IB)の取扱い開始

- 2005**
- 「阪神・淡路大震災10年事業」の実施
  - 第3次中期経営計画スタート
  - 「近畿ろうきんフラット35」の発売

- 2006**
- 保険窓販業務の取扱い開始
  - テレビCM「儲けない金融機関近畿ろうきん」の放映開始
  - 「他行・郵便局ATM・CD機利用手数料の全額還元」完全実施(対象口座の条件撤廃)
  - 「Webによる融資仮申込」の取扱い開始



手数料還元「おかえり。」ポスター

融資によるNPO支援で  
**第4回パートナーシップ大賞  
 「パートナーシップ賞」を受賞**  
 「エイブル・アート近畿～ひと・アート・まち」で  
**メセナアワード2006  
 「文化庁長官賞」を受賞**



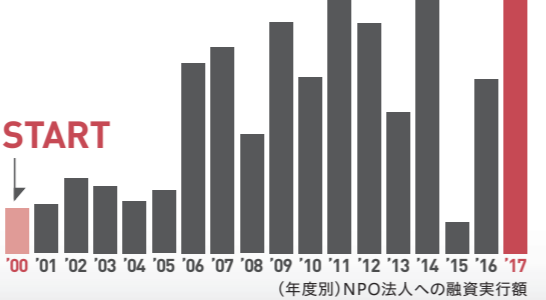
98 99 00 01 02 03 04 05 06 07

- 1999**
- ろうきんと郵貯とのATM業務提携稼働
  - 新中期経営計画スタート
  - ろうきんATMでの日曜・祝日の入金サービス開始
  - 近畿ろうきん第1回NPOフォーラムの開催



近畿ろうきん第1回NPOフォーラム

**2000**  
 近畿ろうきん初のNPO融資を实行  
 初年度の融資実行額**6,250**万円からスタート  
 2017年度までの累計  
**約101億8,400**万円を突破  
 (NPO法人・生協・社会福祉法人等を含む)



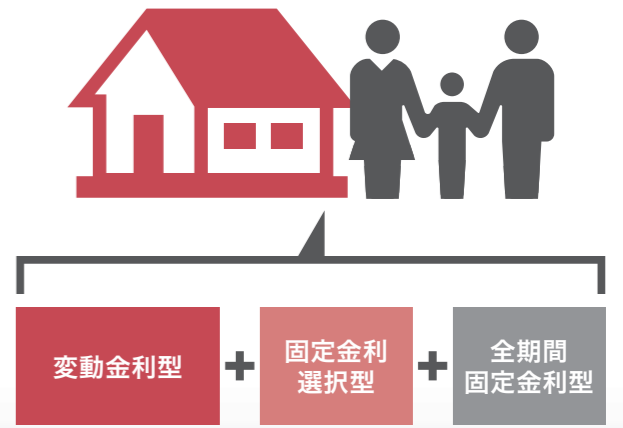
- 2002**
- 第2次中期経営計画スタート
  - 雇用支援融資「給料定期便」の発売
  - 個人型確定拠出年金の取扱い開始
  - 「近畿ろうきん環境宣言」制定
  - 「@irカード・@irローン」の発売

- 2003**
- 日本育英会の奨学生に対する入学金融制度の新設
  - KES環境マネジメントシステム・スタンダードの認証取得
  - 夏のエコスタイル開始

**2007**  
 融資によるNPO支援で  
**「第4回朝日企業市民賞」を受賞**  
 融資によるNPO支援で  
**第4回企業フィランソロピー大賞  
 「特別賞・NPO支援賞」を受賞**



## 住宅ローン「よりどりプラン」の取扱い開始



- 1998**
- 長野冬季オリンピック開催

- 1999**
- 日本銀行がゼロ金利政策を導入

- 2000**
- 介護保険スタート
  - 沖縄サミット開催
  - 二千年札発行
  - 金融庁発足

- 2001**
- 中央省庁再編、1府12省庁へ
  - 内閣府、日本経済のデフレ認定
  - 米国で同時多発テロ発生

- 2002**
- FIFAワールドカップ日韓共催

- 2003**
- 日本郵政公社発足

- 2004**
- 新潟県中越地震

- 2005**
- ペイオフ解禁
  - 個人情報保護法施行

- 2007**
- 日本郵政公社民営化
  - 米国サブプライムローン問題深刻化

リーマン・ショック、東日本大震災をはじめ多くの自然災害など、はたらく人々の生活を揺るがすさまざまなできごとがありました。これから先も、近畿ろうきんは時代の潮流に沿い、未来を見据え、新たな挑戦を続けていきます。

## 2008 近畿ろうきん 10周年記念プログラムの実施



- ### 2010
- 全労済共済代理業務の取扱いを全営業店に拡大
  - 「インターネットバンキング特別定期預金」の発売

預金量  
**2兆円**  
突破

- ### 2011
- 「緊急災害支援融資」の発売
  - 「ゆめ風基金・募金プロジェクト」の実施

NPOとの協働事業「心のそしな」で第8回パートナーシップ大賞「グランプリ(大賞)」を受賞



- ### 2012
- 第5次中期経営計画スタート
  - 近畿ろうきんの共生事業が協同組合地域貢献コンテストで「優秀賞」を受賞
  - スマートフォンサイトの公開
  - ろうきん「ILO国際シンポジウム」開催

## 「社会貢献預金・すまいる」の発売

最大結集総額  
約**94億円**  
寄付総額  
**4,757万円**



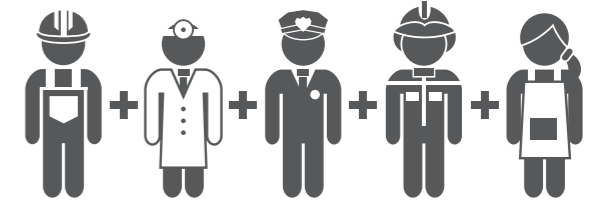
## 2014 ろうきん統一の新オンラインシステム(アール・ワン)への移行



- ### 2016
- コンビニ等ATMのご利用時間・お取引内容拡大
  - 会員組合員限定のカードローン「スマートチョイス」の発売



## 2017 個人型確定拠出年金 iDeCo(イデコ) 加入対象の拡大



- 日本政策金融公庫との「業務連携・協力に関する覚書」の締結
- 「投資信託金利上乗せ定期預金」の発売
- 「インターネットバンキング投資信託」の取扱い開始
- 「住宅プラス500」の発売
- 「ろうきん口座開設アプリ」の取扱い開始

- ### 2008
- 第4次中期経営計画スタート
  - イオン銀行とのATM利用提携
  - ろうきん肥後橋ビル竣工
  - 携帯サイトの公開



- ### 2009
- 「生活“バックUP”キャンペーン」の実施

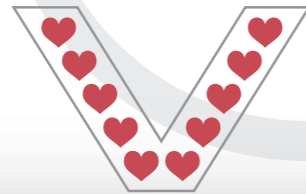


- 「生活支援緊急ローン」の発売



## 2011 東日本大震災復興支援定期「サポートV」の発売

結集総額  
約**161億円**  
寄付総額予定(2021年3月末まで10年間)  
約**1億5,640万円**



## 2013 生協組合員向け利用スタート



## 「ピンクリボン運動」支援の取組み開始

寄付金額 (2013年4月~2018年3月の実績に対する寄付金額)  
**27,558,518円**

- Web申込み限定のカードローン「笑くぼ」の発売
- 「フレックスローン」の発売
- 退職金定期預金「フェニックス」の発売

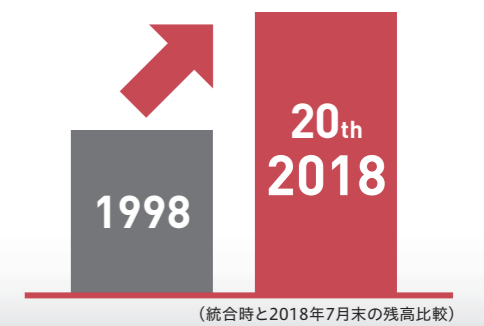
- ### 2015
- 第6次中期経営計画スタート
  - 住宅ローン「ろうきん団体信用生命保険(夫婦連生団信)」の取扱い開始
  - 「教育ローン(カード型)」の発売
  - 「住宅ローン(全期間固定金利型)」の発売

- ### 2018
- 「つみたてNISA」制度の取扱い開始
  - ホームページのリニューアル
  - テレビCM「声援」篇・「カードローンの化身」篇・「サイン」篇の放映開始
  - 第7次中期経営計画スタート
  - 「社会貢献預金(笑顔プラス)」の発売
  - 「20周年記念キャンペーン」の実施
  - 生命保険窓口販売の開始



## 近畿ろうきん20周年(10月1日)

預金量  
20年で 約**1.8倍**



2008 ●米国リーマンブラザーズ経営破たん(リーマン・ショック)

2009 ●政権交代により非自民政権の誕生

2010 ●小惑星探査機「はやぶさ」帰還

2011 ●東日本大震災 ●貿易収支が31年ぶりの赤字

2012 ●東京スカイツリー開業

2013 ●日本銀行が量的・質的金融緩和政策を導入

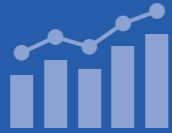
2014 ●消費税率を8%に引上げ

2015 ●マイナンバー(個人番号)の通知開始

2016 ●日本銀行がマイナス金利政策を導入 ●熊本地震

2018 ●大阪府北部地震 ●平成30年7月豪雨

# 業績推移

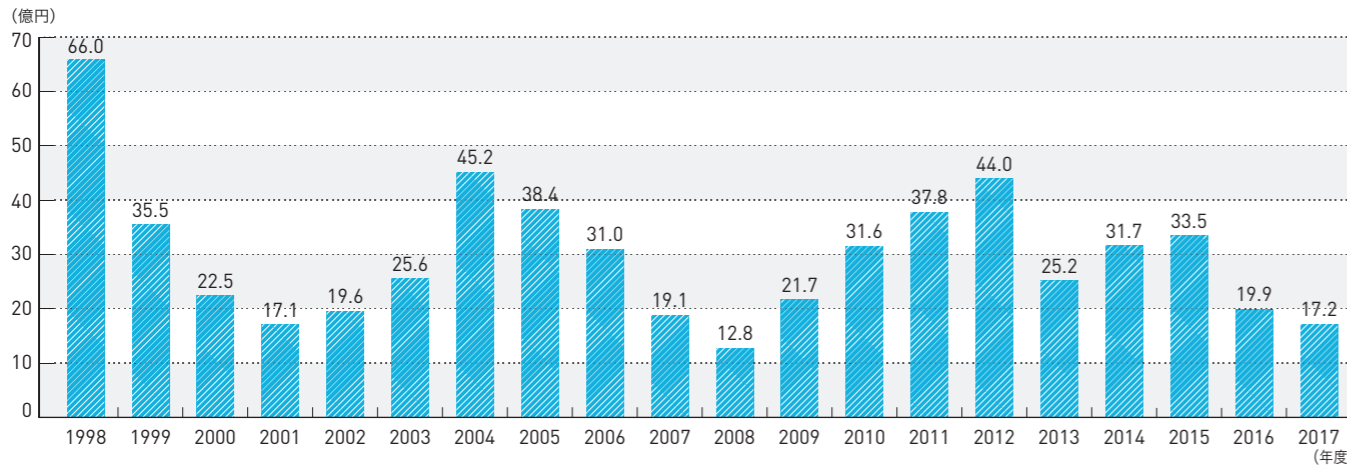


# 店舗一覧



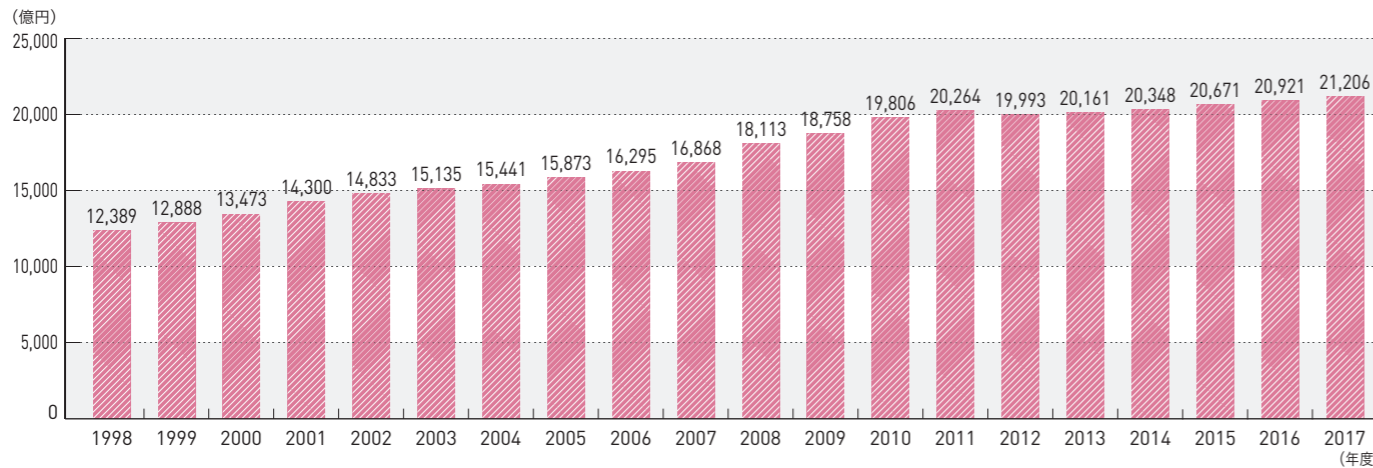
## 当期純利益

激動する経済状況のなか、収益の維持・向上に努めてきました。



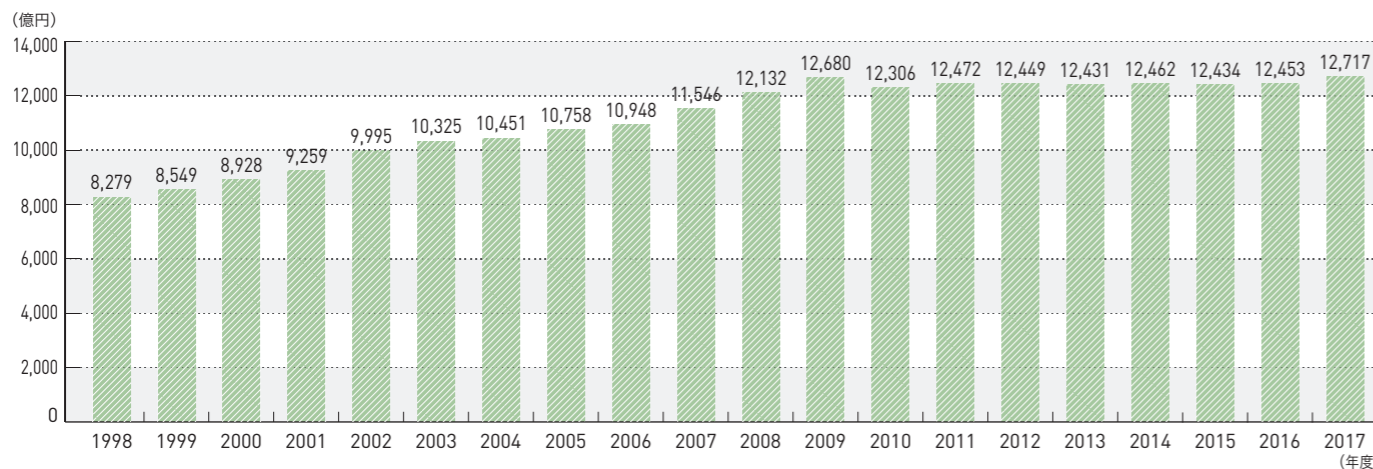
## 預金残高

おかげさまで預金残高は2兆円を突破し、堅調な足どりで推移してきました。



## 融資残高

近年、個人融資を中心に他金融機関との競争が激しさを増すなか、融資残高の維持・拡大に取り組んできました。



## 店舗MAP

店舗ネットワークを活かし、はたらく人々の豊かな生活と福祉の実現に向けた金融事業を推進していきます。

### 府県別店舗一覧(計55店舗)

2018年10月1日現在

- |  |  |  |  |   |   |
|--|--|--|--|---|---|
| <b>滋賀県(6店舗)</b><br>●542-大津支店<br>●543-彦根支店<br>●544-草津支店<br>●545-八日市支店<br>●546-長浜支店<br>●547-水口支店<br><br><b>奈良県(4店舗)</b><br>●552-奈良支店 | <b>京都府(8店舗)</b><br>●561-京都支店<br>●563-長岡支店<br>●564-伏見支店<br>●565-宇治支店<br>●566-福知山支店<br><br>●553-高田支店<br>●556-桜井支店<br>●557-大和郡山支店 | <b>大阪府(17店舗)</b><br>●580-富田林支店<br>●581-本店営業部<br>●582-梅田支店<br>●584-堺支店<br>●585-高槻支店<br><br>●567-舞鶴支店<br>●568-宮津出張所<br>●572-亀岡支店 | ●586-大正支店<br>●587-守口支店<br>●588-天王寺支店<br>●591-東大阪支店<br>●592-岸和田支店<br>●593-枚方支店<br>●595-豊中支店<br>●596-吹田支店<br>●597-八尾支店<br>●607-天下茶屋支店<br><br>●610-十三駅前出張所<br>●618-大阪中央支店 | <b>和歌山県(8店舗)</b><br>●622-和歌山支店<br>●623-御坊支店<br>●624-新宮支店<br>●625-田辺支店<br>●627-橋本支店<br>●628-有田支店<br><br><b>兵庫県(12店舗)</b><br>●642-神戸支店<br>●643-洲本支店<br>●644-尼崎支店<br>●645-伊丹支店<br>●646-西宮支店<br>●649-北須磨出張所 | ●631-串本出張所<br>●632-那賀出張所<br><br>●651-東播加古川支店<br>●652-姫路支店<br>●653-相生支店<br>●654-但馬支店<br>●655-明石支店<br>●656-北播支店 |
|--|--|--|--|---|---|

※表記は「店番号-店舗名」

店舗の詳細情報は  
ホームページ(店舗・ATM検索)  
をご覧ください

